

高等学校 令和 7 年度 (1 学年用)

教科 : 美術

科目 : 美術 I

単位数 : 2 単位

対象学年組 : 第 1 学年

教科担当者 : (1 組~6 組 : 佐藤沙彩)

使用教科書 : 日本文教出版 高校生の美術 1

教科の目標 : 美術の幅広い創造活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、美的体験を重ね、生活や社会の中の美術や美術文化と幅広く関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

【知識及び技能】 芸術に関する各科目の特質について理解するとともに、意図に基づいて表現するための技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 創造的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】 生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。

科目の目標 :

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。	造形的なよさや美しさ、表現の意図と創意工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し創造的に発想し構想を練ったり、価値意識をもって美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。	主体的に美術の幅広い創造活動に取り組み、生涯にわたり美術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、美術文化に親しみ、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時間
1 学期	1 単元名 ポスタリゼーション (絵画)						
	【知識及び技能】 造形の要素の働きの理解するとともに、意図に応じて材料や用具の特性を生かすことができる。	【使用教材】 日本文教出版 高校生の美術1、ケントボード、アクリル絵の具 ICT画像、ワークシート、振り返しシート	【知識及び技能】 造形の要素の働きの理解するとともに、意図に応じて材料や用具の特性を生かそうとしている。				
	【思考力、判断力、表現力等】 表現形式の特性を生かし、形体や色彩、構成などについて考え、創造的な表現の構想を練ることができる。	【指導項目・内容】 人物写真をもとにしたポスタリゼーション制作	【思考力、判断力、表現力等】 表現形式の特性を生かし、形体や色彩、構成などについて考え、創造的な表現の構想を練ろうとしている。	○	○	○	18
	【学びに向かう力、人間性等】 主体的に美術の幅広い創造活動に取り組み、生涯にわたり美術を愛好する心情を育むことができる。		【学びに向かう力、人間性等】 主体的に美術の幅広い創造活動に取り組み、生涯にわたり美術を愛好する心情を育もうとしている。				
1 学期	2 単元名 鑑賞						
	【知識及び技能】 造形的特徴などを基に、全体のイメージや作風、様式などで捉えることを理解することができる。	【使用教材】 日本文教出版 高校生の美術1 ICT画像、ワークシート、振り返しシート	【知識及び技能】 造形の要素の働きの理解しようとしている。				
	【思考力、判断力、表現力等】 造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や意図と創造的な表現の工夫などについて考え、見方や感じ方を深めることができる。	【指導項目・内容】 作品鑑賞・グループワーク	【思考力、判断力、表現力等】 造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や意図と創造的な表現の工夫などについて考え、見方や感じ方を深めようとしている。	○	○	○	2
	【学びに向かう力、人間性等】 感性を高め、美術文化に親しみ、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養うことができる。		【学びに向かう力、人間性等】 感性を高め、美術文化に親しみ、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養おうとしている。				
2 学期	1 単元名 ペーパーナイフ (デザイン)						
	【知識及び技能】 表現方法を創意工夫し、目的や計画を基に創造的に表すことができる。	【使用教材】 日本文教出版 高校生の美術1 ICT画像、ワークシート、振り返しシート 紙やすり、棒やすり、木彫材、彫刻刀、アクリル絵の具、蜜蝋ワックス	【知識及び技能】 表現方法を創意工夫し、目的や計画を基に創造的に表そうとしている。				
	【思考力、判断力、表現力等】 デザインの機能や効果、表現形式の特性などについて考え、創造的な表現の構想を練ることができる。	【指導項目・内容】 桂材を用いてペーパーナイフをデザインする	【思考力、判断力、表現力等】 デザインの機能や効果、表現形式の特性などについて考え、創造的な表現の構想を練ろうとしている。	○	○	○	22
	【学びに向かう力、人間性等】 主体的に美術の幅広い創造活動に取り組み、生涯にわたり美術を愛好する心情を育むことができる。		【学びに向かう力、人間性等】 主体的に美術の幅広い創造活動に取り組み、生涯にわたり美術を愛好する心情を育もうとしている。				
2 学期	2 単元名 スーパーリアリズム (彫刻)						
	【知識及び技能】 意図に応じて材料や用具の特性を生かすことができる。	【使用教材】 日本文教出版 高校生の美術1 石粉粘土、粘土べら、粘土板、紙やすり、彫刻刀、アクリル絵の具 ICT画像、ワークシート、振り返しシート	【知識及び技能】 意図に応じて材料や用具の特性を生かそうとしている。				
	【思考力、判断力、表現力等】 自然や自己、生活などを見つめ感じ取ったことや考えたこと、夢や想像などから主題を生成することができる。	【指導項目・内容】 石粉粘土による模刻	【思考力、判断力、表現力等】 自然や自己、生活などを見つめ感じ取ったことや考えたこと、夢や想像などから主題を生成しようとしている。	○	○	○	22
	【学びに向かう力、人間性等】 主体的に美術の幅広い創造活動に取り組み、生涯にわたり美術を愛好する心情を育むことができる。		【学びに向かう力、人間性等】 主体的に美術の幅広い創造活動に取り組み、生涯にわたり美術を愛好する心情を育もうとしている。				

年間授業計画 新様式

高等学校 令和 7 年度 (1 学年用)

教科 : 美術

科目 : 美術 I

単位数 : 2 単位

対象学年組 : 第 1 学年

教科担当者 : (1 組~6 組 : 佐藤沙彩)

使用教科書 : 日本文教出版 高校生の美術 1

教科の目標 : 美術の幅広い創造活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、美的体験を重ね、生活や社会の中の美術や美術文化と幅広く関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

【知識及び技能】 芸術に関する各科目の特質について理解するとともに、意図に基づいて表現するための技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 創造的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】 生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。

科目の目標 :

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。	造形的なよさや美しさ、表現の意図と創意工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し創造的に発想し構想を練ったり、価値意識をもって美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。	主体的に美術の幅広い創造活動に取り組み、生涯にわたり美術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、美術文化に親しみ、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時間
3 単元名 鑑賞						
2 学期	【知識及び技能】 造形的な特徴などを基に、全体のイメージや作風、様式などで捉えることを理解することができる。	【使用教材】 日本文教出版 高校生の美術1 ICT画像、ワークシート、振り返りシート				
	【思考力、判断力、表現力等】 造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や意図と創造的な表現の工夫などについて考え、見方や感じ方を深めることができる。	【指導項目・内容】 作品鑑賞・グループワーク				
	【学びに向かう力、人間性等】 感性を高め、美術文化に親しみ、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養うことができる。					
		【知識及び技能】 造形の要素の働きを理解しようとしている。				
		【思考力、判断力、表現力等】 造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や意図と創造的な表現の工夫などについて考え、見方や感じ方を深めようとしている。	○	○	○	2
		【学びに向かう力、人間性等】 感性を高め、美術文化に親しみ、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養おうとしている。				
3 学期	1 単元名 色と形でイメージかるた (絵画・共通事項)					
	【知識及び技能】 全体のイメージや作風、様式などで捉えるとともに、表現方法を創意工夫し、主題を追求して創造的に表すことができる。	【使用教材】 日本文教出版 高校生の美術1 プリント、ケントボード、アクリル絵の具				
	【思考力、判断力、表現力等】 自然や自己、生活などを見つめ感じ取ったことや考えたこと、夢や想像などから主題を生成することができる。	【指導項目・内容】 オートマチック技法を用いて、かるたの絵札と読み札の制作				
	【学びに向かう力、人間性等】 主体的に美術の幅広い創造活動に取り組み、生涯にわたり美術を愛好する心情を育むことができる。					
		【知識及び技能】 全体のイメージや作風、様式などで捉えるとともに、表現方法を創意工夫し、主題を追求して創造的に表そうとしている。				
		【思考力、判断力、表現力等】 自然や自己、生活などを見つめ感じ取ったことや考えたこと、夢や想像などから主題を生成しようとしている。	○	○	○	4
		【学びに向かう力、人間性等】 主体的に美術の幅広い創造活動に取り組み、生涯にわたり美術を愛好する心情を育もうとしている。				